ありがとう

清音小学校だより

No3
令和８年５月８日
校長　藤本千登世

授業参観・学級懇談等ありがとうございました

はりきる１年生

４月２２日（水）、第１回の参観日でした。たくさんの方がご参観くださり大変ありがとうございました。新しい環境にも慣れてきて、張り切って学習に取り組んでいる子ども達の様子を見ていただけたことと思います。学級懇談会・サポーターズ総会のご参加もありがとうございました。サポーターズ総会では、最後にこんな話をしました。

どの子も可能性や強みをもっており、その可能性や強みを引き出し、伸ばすことが教師の仕事だと思っています。清音小の職員は、子どものよさを見つけ、しっかり誉めたり認めたりすることを大事にしています。子どもは親に褒められて育つと、相手の長所を認められる明るい子に育つそうです。子どもをみんなでしっかり誉めて育てていきましょう。

いじめ防止基本方針」について

全職員「いじめは人として卑怯な行為であり、どんな理由でも許されない」「いじめられている子を学校は必ず守る」という考えのもと対応していきます。傍からみれば些細なことでも、本人にとっては精神的な苦痛を感じることもあります。職員は、毎月のアンケート実施や児童との心のふれあいを大切にするなど、アンテナを高くしていきますが、気が付いていないこともございます。児童のことでお気づきのことがございましたら、「まあいいかな」と思わずぜひお知らせください。本校の「いじめ防止基本方針」はホームページに載せておりますのでご覧ください。

あいさつとハイの返事ができる子に

雨の日も・・感謝！

４月の品格教育の目標は「あいさつ」でした。サポーターズ総会でも話しましたが、挨拶や返事ができる子に、そして「ありがとう」が言える子になってほしいと思います。

「子どもは、教師の鏡・親の鏡」です。ありがたいことに、地区には登校を見守ってくださるボランティアの方がたくさんおられます。これからも私たち大人が手本となり、見守りの方に感謝の言葉を伝えたり、地域でも挨拶ができるよう、子ども達に声をかけたりしていきたいものです。

学校・家庭・地域が連携し、「チーム清音」一緒になって、挨拶や「ありがとう」が言える子に育成していきましょう。

みんながしあわせになるまほうのことば **ありがとう**	児童には「みんなが幸せになる魔法の言葉」は、「ありがとう」であることを繰り返し話しています。「ありがとう」と言うと、脳から幸せホルモンと言われるセロトニンという物質が出るそうです。言った人も言われた人も幸せになるし、心も体も元気になるそうです。「ありがとう」をたくさん言いたいものです。 笑顔とありがとうがあふれる清音に！